|  |
| --- |
| ４０１４．出港前報告Ｂ／Ｌ関連付け |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＢＬＬ | 出港前報告Ｂ／Ｌ関連付け |

１．業務概要

出港前報告されたＢ／Ｌ＊１に対し、Ｂ／Ｌのセパレート、コンバイン、スイッチによりＢ／Ｌ番号の変更が発生した場合に、変更前後のＢ／Ｌ番号の関連付けを行う。また、当該関連付けの取り消しを行う。

本業務を行うことにより、変更後のＢ／Ｌに設定された出港前報告不一致（報告期限超過、出港前報告未済　等）を解消する要件を満たした場合は、当該不一致を解消する。

（＊１）Ｂ／Ｌの種類は以下のとおりとする。

①「オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌ」

「出港前報告（ＡＭＲ）」業務または「出港前報告訂正（ＣＭＲ）」業務（以下、「ＡＭＲ業務等」という。）で登録されるＢ／Ｌ。

②「ハウスＢ／Ｌ」

「出港前報告（ハウスＢ／Ｌ）（ＡＨＲ）」業務または「出港前報告訂正（ハウスＢ／Ｌ）（ＣＨＲ）」業務（以下、「ＡＨＲ業務等」という。）でハウスＢ／Ｌとして登録されるＢ／Ｌ。

③「マスターＢ／Ｌ」

オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌのうち、ハウスＢ／Ｌと関連付けされているＢ／Ｌ、またはマスターＢ／Ｌ識別に「Ｍ」を入力したＢ／Ｌ。

２．入力者

船会社、船舶代理店、ＮＶＯＣＣ

３．制限事項

登録可能な変更前後のＢ／Ｌ番号の件数は、以下の通り。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ｂ／Ｌ変更種別 | 変更前Ｂ／Ｌ番号 | 変更後Ｂ／Ｌ番号 |
| セパレート | １件 | １０件 |
| コンバイン | １０件 | １件 |
| スイッチ | １件 | １件 |

４．入力条件

（１）入力者チェック

（Ａ）登録の場合

①システムに登録されている利用者であること。

②入力者が船会社の場合は、変更前後のＢ／Ｌに対するＡＭＲ業務等、「積荷目録情報登録（ＭＦＲ）」業務または「積荷目録情報訂正（積荷目録提出業務後）（ＣＭＦ０２）」業務（以下、「ＭＦＲ業務等」という。）により登録された船会社と同一であること。

③入力者が船舶代理店の場合は、変更後Ｂ／Ｌに対して以下のいずれかの条件を満たすこと。なお、セパレートの場合は、変更後Ｂ／Ｌのうち、いずれか１件以上のＢ／Ｌに対して以下のいずれかの条件を満たすこと。

・ＡＭＲ業務等により登録された船卸港が国内港でない。

・ＡＭＲ業務等またはＭＦＲ業務等により登録された船卸港が国内港である場合は、当該船卸港において本船利用船会社との受委託関係がシステムに登録されている。

④入力者がＮＶＯＣＣの場合は、変更前後のＢ／Ｌに対して以下のいずれかの条件を満たすこと。

・「出港前報告（ハウスＢ／Ｌ）（ＡＨＲ）」業務または「出港前報告訂正（ハウスＢ／Ｌ）　　（ＣＨＲ）」業務（以下、「ＡＨＲ業務等」という。）を行った利用者と同一である。

・ＡＨＲ業務等により登録された通知先と同一である。

（Ｂ）取消の場合

①システムに登録されている利用者であること。

②登録時と同一の利用者であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（３）出港前報告Ｂ／Ｌ関連付けＤＢチェック

（Ａ）登録の場合

入力された変更前Ｂ／Ｌおよび変更後Ｂ／Ｌが存在しないこと。

（Ｂ）取消の場合

①入力された変更前Ｂ／Ｌおよび変更後Ｂ／Ｌが存在すること。

②入力された変更前Ｂ／Ｌと変更後Ｂ／Ｌの組み合わせが登録時と同一であること。

③入力されたＢ／Ｌ変更種別が登録時と同一であること。

（４）出港前報告情報ＤＢチェック

（Ａ）登録の場合

（ａ）変更前Ｂ／Ｌに対するチェック

入力された変更前Ｂ／Ｌに対して以下のチェックを行う。

①ＡＭＲ業務等またはＡＨＲ業務等により出港前報告が行われていること。

②本業務により変更前Ｂ／Ｌまたは変更後Ｂ／Ｌである旨が登録されていないこと。

③リスク分析結果の事前通知が登録されていないこと。

④マスターＢ／Ｌの場合は、関連付けられたハウスＢ／Ｌに対してリスク分析結果の事前通知が登録されていないこと。

（ｂ）変更後Ｂ／Ｌに対するチェック

入力された変更後Ｂ／Ｌに対して以下のチェックを行う。

①入力された変更前Ｂ／ＬがハウスＢ／Ｌの場合は、ＡＨＲ業務等により出港前報告が行われていること。

②入力された変更前Ｂ／Ｌがオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌの場合で、入力された変更後Ｂ／Ｌに対してＭＦＲ業務等により積荷目録情報登録が行われていない場合は、ＡＭＲ業務等により出港前報告が行われていること。

③入力された変更前Ｂ／Ｌがオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌの場合で、入力されたいずれかの変更後Ｂ／Ｌに対してＡＭＲ業務等により出港前報告が行われている場合は、すべての変更後Ｂ／Ｌに対してＡＭＲ業務等により出港前報告が行われていること。

④本業務により変更前Ｂ／Ｌまたは変更後Ｂ／Ｌである旨が登録されていないこと。

⑤オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌである場合は、変更前Ｂ／Ｌに登録されているマスターＢ／Ｌ識別と同一であること。

⑥変更前Ｂ／Ｌに登録されている貨物識別（Ｍ：マスター、Ｈ：ハウス、Ｏ：マスター、ハウス以外）と同一であること。

⑦変更前Ｂ／Ｌに登録されている船舶情報＊２と同一であること。

（＊２）船舶情報とは、以下の５項目を指す。

①船舶コード

②航海番号

③船会社コード

④船積港コード

⑤船積港枝番

（Ｂ）取消の場合

（ａ）変更前Ｂ／Ｌに対するチェック

本業務により変更前Ｂ／Ｌである旨が登録されていること。

（ｂ）変更後Ｂ／Ｌに対するチェック

入力された変更後Ｂ／Ｌに対してＡＭＲ業務等により出港前報告が行われている場合は、本業務により変更後Ｂ／Ｌである旨が登録されていること。

（５）貨物情報ＤＢチェック

（Ａ）登録の場合

入力された変更前Ｂ／Ｌがオーシャン（マスター）Ｂ／Ｌである場合は以下のチェックを行う。

（ａ）変更前Ｂ／Ｌに対するチェック

入力された変更前Ｂ／Ｌに対する貨物情報ＤＢが存在しないこと。ただし、入力されたいずれかの変更後Ｂ／Ｌに同一Ｂ／Ｌ番号の入力がある場合を除く。

（ｂ）入力された変更後Ｂ／Ｌに対するチェック

入力された変更後Ｂ／Ｌに対して以下のチェックを行う。なお、②～⑦については、入力された変更後Ｂ／Ｌに対する貨物情報ＤＢが存在する場合のみチェックを行う。

①ＡＭＲ業務等により出港前報告が行われていない場合は、ＭＦＲ業務等により積荷目録情報登録が行われていること。

②本業務により変更前Ｂ／Ｌまたは変更後Ｂ／Ｌである旨が登録されていないこと。

③船卸確認済でないこと。

④コンテナ詰貨物であること。

⑤コンテナタイプコードが「ＰＬ」以外のコンテナが登録されていること。

⑥仮陸揚貨物の旨が登録されている場合は、最終仕向地コードが国外港でない。

⑦船積港が国内港でない。

⑧入力された変更前Ｂ／Ｌに対する出港前報告情報ＤＢに登録されている船舶情報（船積港枝番を除く。）と同一であること。

（Ｂ）取消の場合

入力された変更後Ｂ／Ｌに対してＭＦＲ業務等により積荷目録情報登録が行われている場合は、本業務により変更後Ｂ／Ｌである旨が登録されていること。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）出港前報告Ｂ／Ｌ関連付けＤＢ処理

（Ａ）登録の場合

①Ｂ／Ｌ関連付け番号をシステムで払い出し、登録する。

②入力された変更前Ｂ／Ｌおよび変更後Ｂ／Ｌの組み合わせを登録する。

③入力されたＢ／Ｌ変更種別および変更理由を登録する。

（Ｂ）取消の場合

入力された変更前Ｂ／Ｌおよび変更後Ｂ／Ｌに対する出港前報告Ｂ／Ｌ関連付けＤＢに対し、削除対象とする旨を登録する。

（３）重量比較判定処理

「マスターＢ／Ｌに登録されている総重量」と「関連付けられているハウスＢ／Ｌの総重量の総計」を比較判定する。

（４）マスターＢ／ＬとハウスＢ／Ｌのマッチング判定処理

「入力されたマスターＢ／Ｌ」または「入力されたハウスＢ／Ｌに関連付けられているマスターＢ／Ｌ」に登録されている船舶情報に対してＡＴＤ業務が行われている場合は、当該マスターＢ／Ｌに対してＡＭＲ業務等とＡＨＲ業務等の実施状況の判定を以下の通り行う。

また、ＡＨＲ業務等の実施状況については、マスターＢ／Ｌ単位にハウスＢ／Ｌ報告完了の判定も行う。

| 項番 | ＡＭＲ業務等実施状況＊３ | ＡＨＲ業務等実施状況＊４ | ワーニング対象判定 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 未済 | 済  （ハウスＢ／Ｌ報告完了未済） | 対象 |
| 2 | 未済 | 済  （ハウスＢ／Ｌ報告完了済） | 対象 |
| 3 | 済 | 未済 | 対象 |
| 4 | 済 | 済  （ハウスＢ／Ｌ報告完了未済） | 対象 |
| 5 | 済 | 済  （ハウスＢ／Ｌ報告完了済） | 対象外 |

（＊３）判定対象のマスターＢ／Ｌに対してＡＭＲ業務等実施未済の場合でも、本業務に関連してマスターＢ／Ｌ未登録でないと判定されている場合は、ＡＭＲ業務等実施済と判定する。

（＊４）判定対象のマスターＢ／Ｌに対してＡＨＲ業務等実施未済の場合でも、本業務に関連してハウスＢ／Ｌ未登録でないと判定されている場合は、ＡＨＲ業務等実施済と判定する。

（５）出港前報告情報不一致判定処理

（Ａ）出港前報告情報処理

（ａ）報告期限超過判定

報告期限までに出港前報告が行われていることを判定する。

（ｂ）ハウスＢ／Ｌ未登録判定

マスターＢ／Ｌに対してハウスＢ／Ｌが関連付けられていることを判定する。

（ｃ）マスターＢ／Ｌ未登録判定

マスターＢ／Ｌに対して出港前報告が行われていることを判定する。

（ｄ）船舶情報不一致判定

マスターＢ／ＬとハウスＢ／Ｌの船舶情報が同一であることを判定する。

（Ｂ）貨物情報処理

入力された変更後Ｂ／Ｌが貨物情報ＤＢに存在する場合は、当該Ｂ／Ｌに対して以下の判定を行う。

（ａ）出港前報告未済判定

ＡＭＲ業務等により出港前報告が行われていることを判定する。

（ｂ）出港日時報告未済判定

ＡＴＤ業務により出港日時報告が行われていることを判定する。

（６）出港前報告情報ＤＢ処理

入力されたＢ／Ｌに対する出港前報告情報ＤＢが存在する場合は、入力されたＢ／Ｌに対して以下の①、②、④、⑤の処理を行う。

また、重量比較判定処理、マスターＢ／ＬとハウスＢ／Ｌのマッチング判定処理及び出港前報告情報不一致判定処理における判定対象Ｂ／Ｌに対して以下の③の処理を行う。

①登録の場合は、本業務が行われた旨を登録する。

②取消の場合は、本業務が行われた旨を取り消す。

③重量比較判定処理、マスターＢ／ＬとハウスＢ／Ｌのマッチング判定処理及び出港前報告情報不一致判定処理（報告期限超過判定、ハウスＢ／Ｌ未登録判定、マスターＢ／Ｌ未登録判定、船舶情報不一致判定）の結果を登録する。

④登録の場合で、以下の条件をすべて満たす場合は、変更後Ｂ／Ｌの出港前報告日時に変更前Ｂ／Ｌの出港前報告日時＊５を登録する。

・変更後Ｂ／Ｌが出港前報告済である。

・変更前Ｂ／Ｌの出港前報告日時＊５が変更後Ｂ／Ｌの出港前報告日時より過去日である。

⑤取消の場合は、変更後Ｂ／Ｌの出港前報告日時に、当該変更後Ｂ／Ｌに係るＡＭＲ業務等またはＡＨＲ業務等で登録した出港前報告日時を登録する。

（＊５）コンバインの場合は、変更前Ｂ／Ｌの中で最も未来日となる出港前報告日時。

（７）貨物情報ＤＢ処理

入力された変更後Ｂ／Ｌに対する貨物情報ＤＢが存在する場合は、入力された変更後Ｂ／Ｌに対して以下の処理を行う。

①登録の場合は、本業務が行われた旨を登録する。

②取消の場合は、本業務が行われた旨を取り消す。

③出港前報告情報不一致判定処理（出港前報告未済判定、出港日時報告未済判定）の結果を登録する。

（８）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| --- | --- | --- |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 出港前報告不一致情報（税関） | 「出港前報告情報不一致判定処理（報告期限超過判定、ハウスＢ／Ｌ未登録判定、マスターＢ／Ｌ未登録判定、船舶情報不一致判定）」において、出力要と判定したＢ／Ｌが存在する場合 | 税関 |
| 「出港前報告情報不一致判定処理（出港前報告未済判定、出港日時報告未済判定）」において、出力要と判定したＢ／Ｌが存在する場合 | 税関 |
| 出港前報告不一致情報（民間） | 以下の条件をすべて満たす場合  （１）「出港前報告情報不一致判定処理（報告期限超過判定、ハウスＢ／Ｌ未登録判定、マスターＢ／Ｌ未登録判定、船舶情報不一致判定）」において、出力要と判定したＢ／Ｌが存在する  （２）（１）のＢ／Ｌに対してＡＴＤ業務が行われている、または、マスターＢ／Ｌ未登録の不一致である旨が登録されている場合は、入力されたハウスＢ／Ｌに対してＡＴＤ業務が行われている  （３）（１）のＢ／Ｌに対して本業務により変更前Ｂ／Ｌである旨が登録されていない（ただし、同時に変更後Ｂ／Ｌである旨が登録されている場合を除く） | ＡＴＤ業務実施者  （税関でない場合） |

| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| --- | --- | --- |
|  | 以下の条件をすべて満たす場合  （１）入力されたＢ／Ｌに対する「出港前報告情報不一致判定処理（報告期限超過判定、ハウスＢ／Ｌ未登録判定、マスターＢ／Ｌ未登録判定、船舶情報不一致判定）」において、出力要と判定したＢ／Ｌが存在する  （２）（１）のＢ／Ｌに対してＡＴＤ業務が行われている  （３）（１）のＢ／Ｌに対して本業務により変更前Ｂ／Ｌである旨が登録されていない（ただし、同時に変更後Ｂ／Ｌである旨が登録されている場合を除く）  （４）オーシャン（マスター）Ｂ／Ｌが入力された | 入力者 |
| 以下の条件をすべて満たす場合  （１）「出港前報告情報不一致判定処理（出港前報告未済判定、出港日時報告未済判定）」において、出力要と判定したＢ／Ｌが存在する  （２）（１）のＢ／Ｌに対してＤＭＦ業務が行われている | ＤＭＦ業務実施者 |
| 入力者 |
| ハウスＢ／Ｌ報告状況通知情報 | 「出港前報告情報不一致判定処理（ハウスＢ／Ｌ未登録判定）」において、ハウスＢ／Ｌ未登録である旨を取り消したマスターＢ／Ｌが存在する場合に、当該マスターＢ／Ｌに係る情報を出力する | ＡＭＲ業務等実施者 |
| 出港前報告情報 |  | 税関 |